

せ、研究方法(情報収集、資料作成(表現)などの研究内容についての説明と計画を提出させた。



③ 調査研究の段階

研究計画にそって情報収集をさせた。また、情報を整理し適する方法で処理させるとともに、立体モデル・編集ビデオ・掲示物・資料集としてまとめた。また、コンピュータで扱える文字データ・画像データ・表計算データ・グラフデータなど様々な方法で表現させ、新たな情報を創り出した。(これらのコンピュータデータは教師によってK i Tのコースウェア「地震の研究」にまとめられた)

さらに各班から「研究を通して自

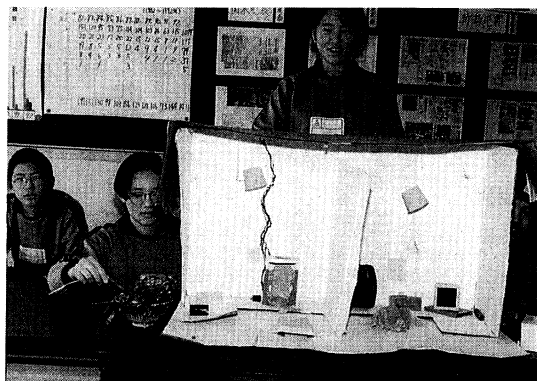
分たちが、最もみんなに伝えたい内容が答えになるような問題を集め、「地震クイズ」を作成した。

④ 研究発表の段階

班ごとに視聴覚機器を使用して発表を行うとともに、各班から出題された問題を、掲示物や資料集、またK i Tのコースウェアにまとめた研究成果を調べながら解決し、情報の共有化を図った。

(5) 検証授業の結果

5つの班の学習活動の結果について、「情報の収集」と「情報の創造」に焦点を当てて述べる。



◆ 「地震の被害(奥尻島の悲劇)」研究班

奥尻島を襲った北海道南西沖地震

【情報の収集】

情報源	内 容
福島地方気象台	福島県内で観測された震度別の地震発生回数を手紙で問合わせた。地震観測の方法や機材を見学し、自然災害に対する保安体制を学んだ。東北地方の震源カタログ(深さ別地震の震源分布)を手紙で問合わせた。
各地の気象台	各地で観測された北海道南西沖地震の震度・波形等を手紙で問合わせた。
担当官庁	北海道南西沖地震災害対策本部、北海道総務部防災消防課に手紙を出し、被害の詳しい情報を入手した。
テレビ映像	サンデーモーニング(TBS)(7月15日)や各テレビ局のニュース番組を録画した。
身近な人達	葛尾村人と先生方への地震体験アンケートを実施した。
郡山中央図書館	朝日新聞の縮刷記事から歴史的大地震の記事を収集した。
県立中央図書館	東京日日(毎日)新聞のマイクロフィルムから歴史的大地震の記事を収集した。
新聞	福島民友・福島民報・毎日新聞・スポーツ日本(7月13~15日朝刊)の記事を収集した。
雑誌	北海道南西沖地震に関する雑誌の記事を収集した。 日本付近のプレートと大地震の震源に関する雑誌の記事を収集した。
書籍	東京書籍「新しい科学2分野下」から資料を収集した。 百科事典・旅行ガイド等35冊から火山に関する記事を収集した。
パソコン通信	メッセージを掲載したり、復旧に係わった人に電子メールを送った。